


第2回 長崎県シニア軟式野球大会実施要項

1. 主催 長崎県軟式野球連盟
2. 主管 長崎県軟式野球連盟諫早支部（諫早市軟式野球連盟）
3. 協賛 ダイワマルエス株式会社
4. 会期 令和4年11月19日(土)、20日(日) 二日間 (雨天順延予備日は未定)
5. 会場 A：スポーツパークいさはや第1野球場 B：スポーツパークいさはや第2野球場
6. 参加資格 本年4月1日時点で**満58歳**に達している9名以上の選手で編成したチーム。
 - ・ チーム名は、2022年度長崎県軟式野球連盟登録の有無は問わない。
 - ・ 監督専任者の年齢制限は行わない。
 - ・ ユニフォームは全員の統一は行わず、背番号の制限(監督30、主将10)もない。
 - ・ 選手の背番号が重複している場合でも、参加申込書の記載は複数の同じ背番号も可とする。
 - ・ 参加選手は9名以上であれば、何人登録しても構わず、ベンチ入りも認める。
 - ・ 大会開催中に不慮の事故があった場合、大会の主催者(主管者)は、応急手当の他は一切の責を負わないので、参加選手はスポーツ安全保険等に加入していること。
7. 適用規則 2022年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目、及び別に定める本大会特別規則を適用する。
8. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認ダイワマルエスM号球を使用する。
9. 参加申込 参加を希望するチームは長崎県軟式野球連盟ホームページから所定の参加申込書をダウンロードし、必要事項を正確に記入の上、連盟各支部を經由し令和4年**11月5日(土)**までに、下記アドレスへメール送信すること。

E-Mail yuki4410@sun.icv-net.ne.jp

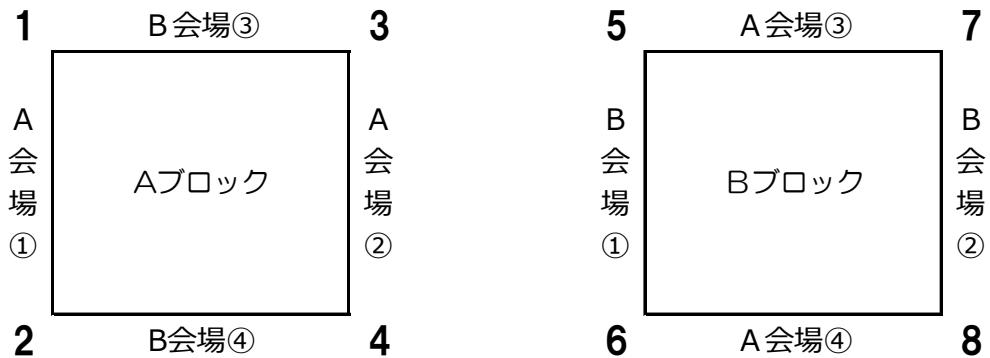
 - ・ 選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。
 - ・ 参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
10. 組み合わせ 参加申込書提出期限の翌日に、主管支部役員及び県連役員立会いで代理抽選を行なう。抽選の結果(組み合わせ表)は、11月7日(月)から『長崎県軟式野球連盟ホームページ』に掲載します。 <http://nagasaki89renmei.jp>  長崎県軟式野球連盟ホームページのQRコード
11. 参加料 1チーム¥25,000 大会会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
12. 監督会議 行わない。
13. 開(閉)会式 開会式は行わない。諸注意事項及び選手確認は打順表提出時に行なう。閉会式は大会最終日の決勝戦終了後に表彰式と兼ねて行なう。
14. 表彰 優勝チームに優勝杯・優勝楯・賞状を、準優勝チームに準優勝楯・賞状を、授与する。
15. 旅費宿泊費 すべてチーム負担とする。
16. その他
 - ・ ベンチに入れるのは選手・監督のほか責任者・マネージャー・スコアラー各1名。
 - ・ 主催者・主管者は試合中の負傷、疾病に対し、応急手当のほかは責任を負わない。
17. 大会連絡者 諫早市軟式野球連盟 理事長 吉本 行範 090-4354-9403
E-Mail yuki4410@sun.icv-net.ne.jp
諫早市軟式野球連盟 事務局長 内田 良浩 090-5939-6810
E-Mail yochan332@outlook.jp

大会運営方法

- (1) 参加申込チームが、8チーム以下の場合には下記的方式で行ない、9チーム以上の場合には、トーナメント戦により、第一日に二回戦までを行ない、第二日に準決勝・決勝を行なう。

| | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 8チームが参加した場合 | A会場 = 第1野球場 | B会場 = 第2野球場 | | |
| 開始時間 | ① = 09:00 | ② = 10:45 | ③ = 12:45 | ④ = 14:30 |

第一日はA・Bの2ブロックによる『リンク・リーグ戦方式』で、1チームが2試合を行ない、2ブロック内の勝率上位2チームが、第二日の決勝トーナメント戦に進出する。



上表では、全8チームがA会場で1試合。B会場で1試合を行なう。

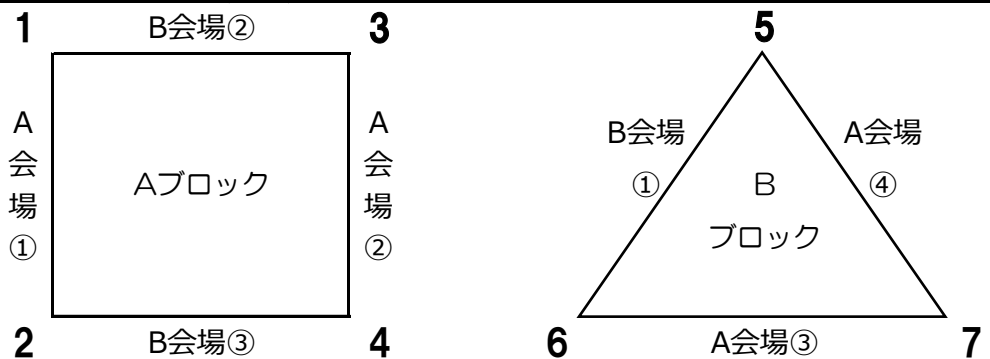
- (2) ブロック内で勝率上位の同数チームが発生した場合は、直接対戦の勝者を上位とし、それでも決しない時は2試合で失点数合計の少ないチームを上位とする（これには、タイブレーク戦の失点は含まない）。

【例1】 1 = 2勝0敗 2 = 1勝1敗 3 = 0勝2敗 4 = 1勝1敗 **B会場④の勝者が上位**

【例2】 4チームの全てが、1勝1敗の場合は、2試合の失点数合計で決する。

それでも上位2チームが決定しない場合は、該当チームの代表5人による『抽選』で決する。

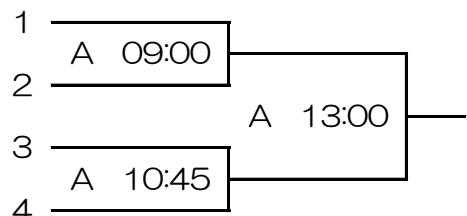
| | | | | | |
|-------------|---|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 7チームが参加した場合 | A | ① = 09:00 | ② = 10:45 | ③ = 12:30 | ④ = 14:15 |
| | B | ① = 10:30 | ② = 12:45 | ③ = 14:30 | |



上表では、7のみがA会場で2試合。1～6はA会場とB会場で1試合ずつ。

決勝
トーナメント

Aブロックの勝率1位チーム
Bブロックの勝率2位チーム
Aブロックの勝率2位チーム
Bブロックの勝率1位チーム



大会特別規則

- (1) 試合はすべて7回戦とする。
- (2) 得点差によるコールドゲームは、全試合5回以降7点差とする。
- (3) 試合途中での日没、降雨、その他の理由で審判員が試合続行不可能と判断した場合。
 - ① 5回が終了している場合は、その試合は正式試合となる(均等回の得点で勝敗を決する)。
 - ② 5回が終了していない場合は、その試合は成立せず、再試合を行なう。
- (4) EDH(特別指名打者)制を採用する。=10人攻撃制
 - ① 試合開始前にチーム代表者(又は監督)は、EDHを採用するか、しないかを申請する。
EDHを申請したチームは試合終了まで、EDHを採用しなければならず、試合途中からEDHを採用することはできない。
 - ② EDHの打者は攻撃のみの選手であり、打順は1番から10番まで自由に選べる。
 - ③ EDHの選手に代打・代走を送ることができる。
 - ④ EDHの選手も途中から守備につくことができる。その時、打順は変わらず攻撃にも参加できる選手となる。
 - ⑤ EDHの選手が守備についている選手と交代してその守備についたら、守備についていた選手は攻撃のみのEDHになるか、控えの選手がEDHとして出場する。しかし、打順の変更はできない。
 - ⑥ 一度守備についていた選手が攻撃のみのEDHになると、二度と守備につくことはできない。
- (5) リエントリー(再出場)制を採用する。
 - ① 試合前に記載した打順表の先発選手(EDHを含む10人)が、試合途中で交代した場合、一度に限り再出場ができる。ただし、先発時に記された打順にいる選手との交代に限る。
 - ② リエントリーで再出場した選手の守備位置(EDH含む)は、先発時以外でもかまわない。
- (6) 試合時間は1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
同点の場合は、タイブレーク制(無死一二塁・継続打順)で勝敗を決する。
時間の区切りは1時間30分に到達した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行ない、後攻チームが勝っている場合は、攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切る。
【タイブレーク方式】打者は前回からの継続打順とし、無死一・二塁(一塁走者は前位の打順の者、二塁走者は前々位の者)での攻撃を両チームが行なう。
代打、代走は通常ルールと同様に行うことができ、リエントリーも採用することができる。
- (7) 7回を終わって(または制限時間を超えて)同点の場合は、1回のみタイブレーク方式を適用し1回で決着がつかない場合は最終出場選手9人(1番打者から9番打者)による打撃順で、ジャンケンにより勝敗を決する(EDHを採用したチームは10番打者を除く)。
- (8) 投手板～本塁間の距離は16.30m(正規は18.44m)。塁間は25.00m(正規は27.431m)とする。
- (9) 金具付きスパイクでのプレーは禁止する。
- (10) 打者、走者、次打者、ベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。
- (11) 捕手は全日本軟式野球連盟公認(JSBB)のマスク、レガース、プロテクター、およびS・Gマークのついた捕手用ヘルメットを装着しなければならない。
- (12) 雨天の場合でも試合を行うことや、午後から行うこともあるので大会本部に連絡をとること。
- (13) 悪天候のため試合日を延期する場合、日時・会場は県連と主管支部が協議のうえ決定する。チームの意向によって設定することはないので、設定された日時と会場で出来ないチームは棄権とする。